

# 2021年度 第1四半期 決算説明資料

2021年8月6日

リンナイ株式会社

**Rinnai**

# 2021年度 第1四半期 連結決算要点

**売上高** : 845.0億円 (前期比: +23.2%)

日本と中国を中心に各国・地域で主力商品が伸長し大幅増収

過去最高

**営業利益** : 91.8億円 (前期比: +116.0% 利益率: 10.9%)

材料費・物流費高騰の中、増収効果や高付加価値商品の伸長、原価低減等が進み大幅増益

過去最高

**経常利益** : 99.3億円 (前期比: +113.1% 利益率: 11.8%)

営業増益により増益

過去最高

親会社株主に帰属する

**四半期純利益** : 61.9億円 (前期比: +64.5% 利益率: 7.3%)

経常増益により増益

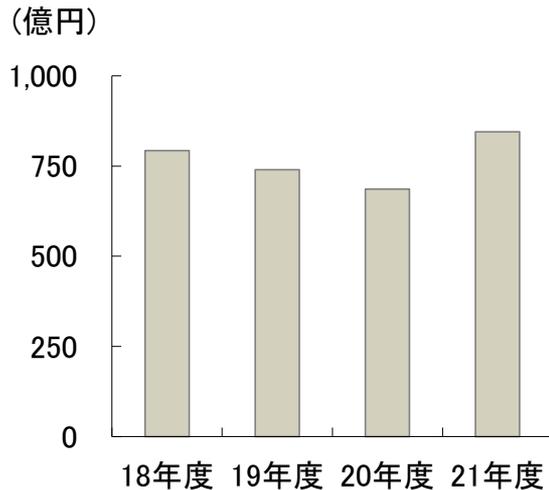
※ 前年同期は投資有価証券売却益 8.4億円計上

過去最高

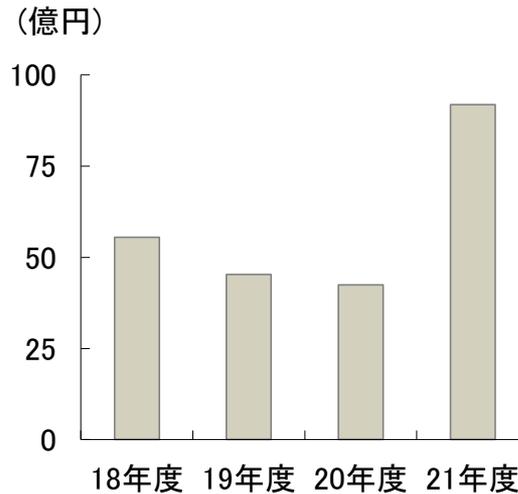
- ・新中期経営計画「New ERA 2025」初年度は国内/海外とも好調なスタート
- ・前年同期の落ち込みを上回る成長で、売上/各利益とも過去最高を更新

# 連結業績推移(第1四半期)

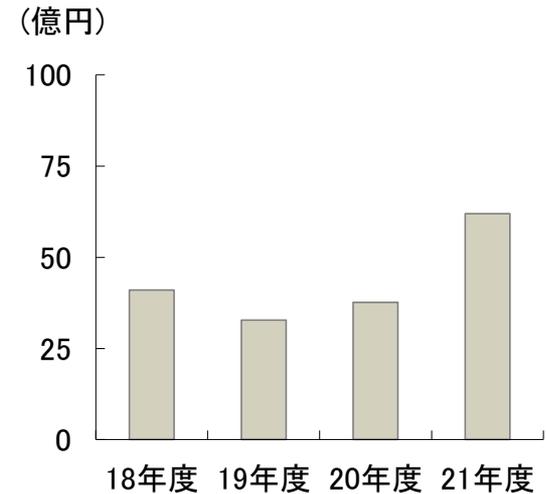
## 売上高



## 営業利益



## 親会社株主に帰属する 四半期純利益



- ・新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く受けた前年度を上回り、3期振りに増収
- ・利益面は原価低減活動や高付加価値商品の伸長で、最高益を大幅更新

# 2021年度 第1四半期 機器別売上高の内訳

[単位:億円]

機器別	2020年度		2021年度		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
給湯	389.4	56.8%	486.8	57.6%	+97.3	+25.0%
厨房	179.5	26.2%	206.9	24.5%	+27.4	+15.3%
空調	27.5	4.0%	36.8	4.4%	+9.2	+33.7%
業用	17.9	2.6%	21.0	2.5%	+3.1	+17.4%
その他	71.3	10.4%	93.3	11.0%	+21.9	+30.8%
合 計	685.8	100.0%	845.0	100.0%	+159.2	+23.2%

# 2021年度 第1四半期 連結損益実績内訳

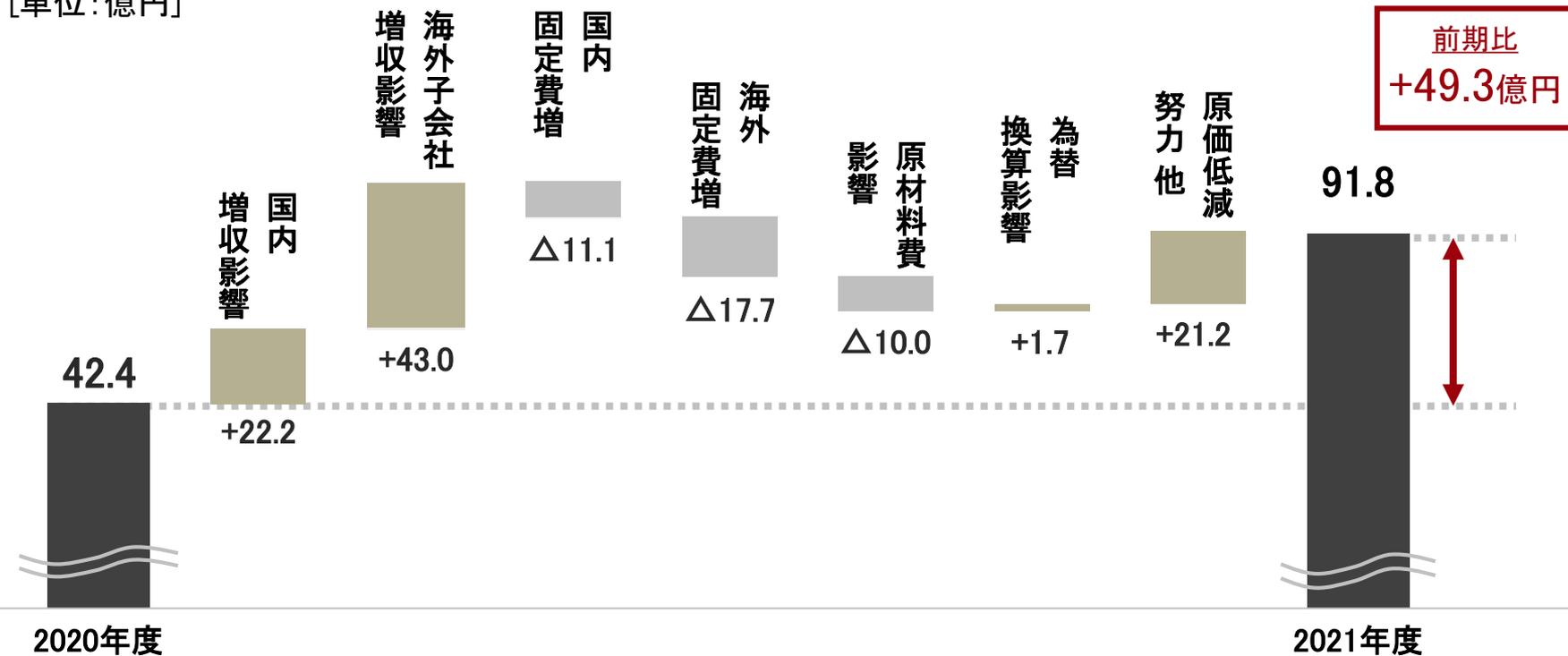
[単位: 億円]	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	845.0	+23.2%	91.8	+116.0%	10.9%	+4.7P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	500.0	+21.2%	42.6	+68.5%	8.5%	+2.4P
国内関連	236.9	+12.3%	8.5	+185.9%	3.6%	+2.2P
海外関連	463.2	+33.0%	48.7	+306.7%	10.5%	+7.1P
合計	1200.2	+23.5%	99.8	+148.1%	8.3%	+4.2P

# 2021年度 第1四半期 連結營業利益分析

[単位: 億円]



# リンナイ単体 2021年度 第1四半期 実績

- 主力の給湯器、ビルトインコンロともコロナ禍の前年同期を上回る
- ガス衣類乾燥機を筆頭に成長品目も好調が継続
- 増収効果、原価低減により第1四半期での営業最高益を更新



ビルトインコンロ



ハイブリッド給湯器

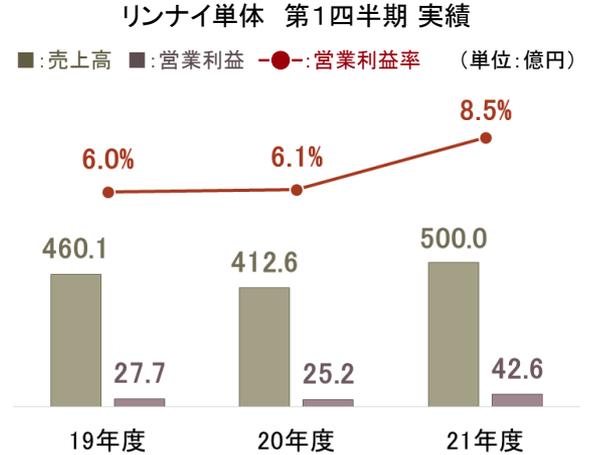


ガス衣類乾燥機



食器洗い乾燥機

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率
売上高	412.6	500.0	+21.2%
営業利益	25.2	42.6	+68.5%
営業利益率	6.1%	8.5%	+2.4pt



(販売台数: 国内)	前期比増減率
給湯暖房機	+7.2%
ふろ給湯器	+10.5%
ビルトインコンロ	+9.5%
ガス衣類乾燥機	+26.9%

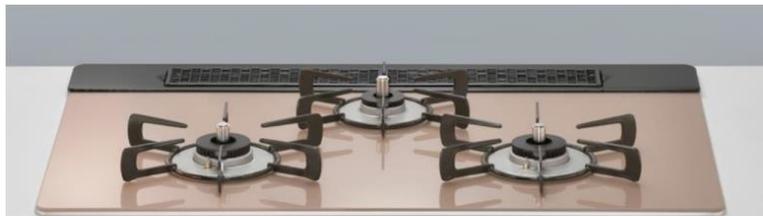
# リンナイ単体 トピックス Lisse(リッセ)

## ビルトインコンロ Lisse(リッセ) モデルチェンジ

# Lisse

発売日: 2021年9月15日

希望小売価格(税抜): 22.2万円~22.7万円



### ■ レシピアプリ「+R RECIPE(プラスアールレシピ)」対応

最上位機種である「DELICIA(デリシア)」に

続き、「Lisse」にも対応を拡大

アプリからコンロにレシピを送信することで

180種類以上のメニューからオート調理が可能

家庭での料理を簡単に、美味しくサポート



### ■ シンプル&スマートなビルトインコンロ

- 操作部・パネルの変更によるデザイン性向上

- ガラストップのカラーバリエーション一新

- 音声ガイダンスによる操作性・安全性を追求



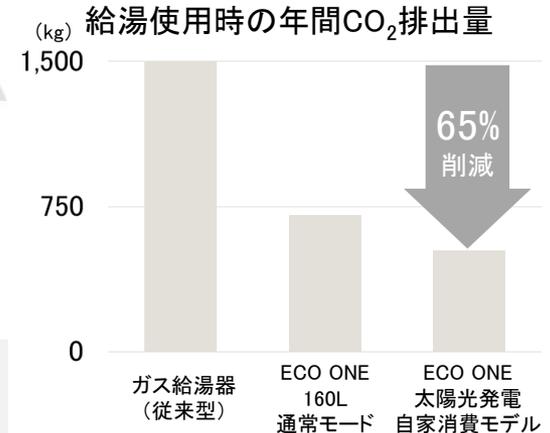
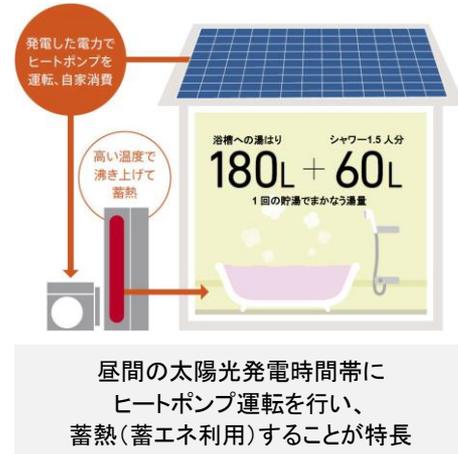
# リンナイ単体 トピックス ECO ONE(エコワン)

## カーボンニュートラル実現へ向け、ニーズが高まる

- ▶ 業界トップクラスの省エネ性能を持つECO ONEが住宅の省エネ化に貢献
- ▶ 4-6月実績 前期比増減率: +12.5%(販売台数)

## 太陽光発電自家消費モデルをラインアップに追加

- ▶ 国が進めるカーボンニュートラル実現のために太陽光発電の有効活用と省エネを徹底的に追求
- ▶ 従来のガス給湯器と比べて年間 約65%のCO<sub>2</sub>排出量を削減

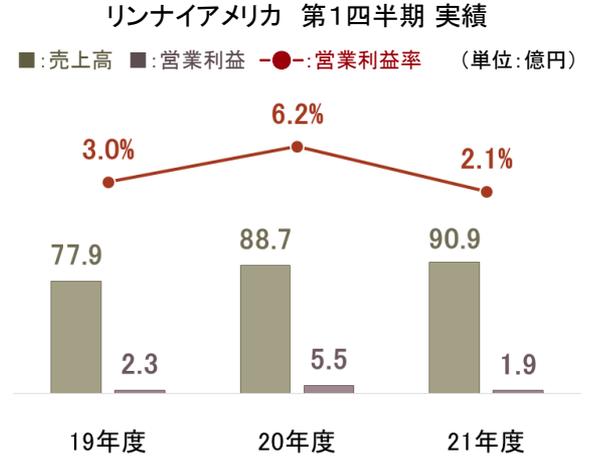


# リンナイアメリカ 2021年度 第1四半期 実績

- 住宅環境改善ニーズが底堅く、タンクレス給湯器の販売が加速
- 強い需要が続く中、港湾の混雑やコンテナ不足による混乱続く
- 研究開発費や仕入れコスト、人件費 等の上昇により減益



(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	88.7	90.9	+2.5%	+5.4%
営業利益	5.5	1.9	△65.5%	△64.5%
営業利益率	6.2%	2.1%	△4.1pt	



(販売台数)	前期比増減率
タンクレス給湯器	+4.0%
内)高効率タイプ	+1.0%

# リンナイアメリカトピックス

## 新工場(グリフィン工場) 建設状況

- ▶ 建築工事は計画通り進捗
- ▶ 計画: 完成/2021年12月 稼働/2022年2月～
- ▶ 生産能力: 24万台/年 ※現状: 10万台/年(リース工場)
- ▶ 投資金額: 78億円

新工場稼働による現地生産能力の拡大と  
モノづくり力の強化で、今後も伸長が見込まれる  
アメリカ給湯器市場での競争優位性を向上させる



建築工事 外観



ガスタンクレス給湯器



完成イメージ

# 上海林内 2021年度 第1四半期 実績

- 前年同期の落ち込みを上回って、各品目とも販売が伸長
- 好調なインターネット販売に加え、実店舗販売も回復
  - インターネット販売 前期比: +65.5% (1-3月 販売金額)
- 給湯器の原価低減効果により、利益率が向上



給湯器



ビルトインコンロ



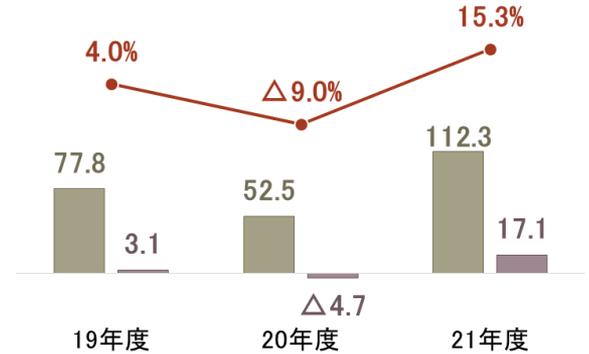
レンジフード



ボイラー

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	52.5	112.3	+113.9%	+104.2%
営業利益	△4.7	17.1	-	-
営業利益率	△9.0%	15.3%	-	-

上海林内 第1四半期 実績  
 ■: 売上高 ■: 営業利益 ●: 営業利益率 (単位: 億円)



(販売台数)	前期比増減率
給湯器	+94.0%
ビルトインコンロ	+81.0%
レンジフード	+110.2%
ボイラー	+237.2%

# リンナイオーストラリア 2021年度 第1四半期 実績

- 給湯器は値上げやロックダウンで台数が弱含むも、金額は前年並み
- 在宅勤務の増加や冬場の需要期に向け、暖房機器販売が好調
- 生産性改善や前年の給湯器値上げにより、利益改善進む



タンクレス給湯器



電気タンク式給湯器

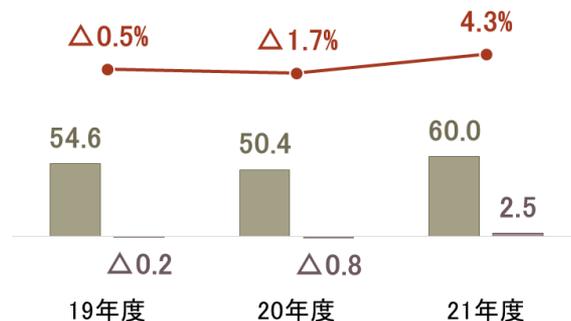


ダクト式冷暖房システム

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	50.4	60.0	+19.0%	+4.9%
営業利益	△0.8	2.5	-	-
営業利益率	△1.7%	4.3%	-	-

## リンナイオーストラリア 第1四半期 実績

■:売上高 ■:営業利益 -●-:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)	前期比増減率
タンクレス給湯器	△7.7%
電気タンク式給湯器	△1.8%
ダクト式冷暖房システム	+10.0%

# リンナイ코리아 2021年度 第1四半期 実績

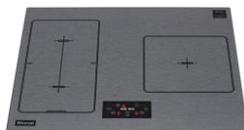
- 親環境ボイラーへの移行と寒波によりボイラー販売が好調
- 前年度からの経営改善活動が着実に進捗し、収益性が向上
  - 原価低減、不採算商品の整理、新製品投入、固定費管理 等



親環境ボイラー

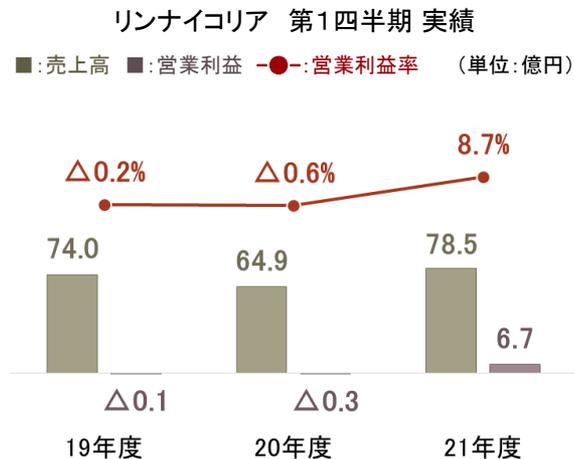


ガスコンロ



電気コンロ

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	64.9	78.5	+20.9%	+16.1%
営業利益	△0.3	6.7	-	-
営業利益率	△0.6%	8.7%	-	-



(販売台数)	前期比増減率
ボイラー	+7.4%
ガスコンロ	+7.0%
電気コンロ	△19.4%

# リンナイインドネシア 2021年度 第1四半期 実績

- 販促活動や調理ニーズの高まりにより、テーブルコンロが好調
- ビルトインコンロ・レンジフードといった成長分野が伸長
- 増収効果や高付加価値商品の伸びにより、増益幅が拡大



テーブルコンロ



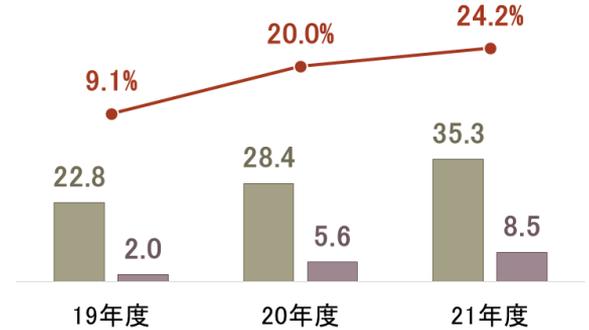
ビルトインコンロ



レンジフード

(億円)	2020年度	2021年度	前期比増減率	
			円貨	現地通貨
売上高	28.4	35.3	+24.3%	+25.1%
営業利益	5.6	8.5	+50.3%	+51.3%
営業利益率	20.0%	24.2%	+4.2pt	

リンナイインドネシア 第1四半期 実績  
 ■:売上高 ■:営業利益 ●:営業利益率 (単位:億円)



(販売台数)	前期比増減率
テーブルコンロ	+13.2%
ビルトインコンロ	+60.1%
レンジフード	+179.5%

# カーボンニュートラルへの取り組み

## 水素混合ガスへの対応

イギリス・・・ガス会社5社は「Britain's Hydrogen Network Plan」を発表、2023年に水素20%混合ガスの供給を計画

オーストラリア・・・大手ガス供給会社による一般家庭向け水素5%混合ガス供給の実証事業が進行



当社のガス給湯器は高効率タイプを中心に水素混合率30%まで対応可能  
※条件付き

## 事業活動でのCO<sub>2</sub>排出量削減

RBコントロールズ株式会社(国内グループ)本社増築に伴い、事業活動でのCO<sub>2</sub>排出削減を目指し、Net Zero Energy Buildingのゼブレディ認証を取得



2021年4月竣工



59%削減を達成  
(創エネ6%、省エネ53%)

カーボンニュートラル社会の実現に向け多様な取り組みを推進

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。